

出番を待つ象と女カメラマンの出来 / 1980年『天幕の街』より ©Yoko Suzuki

鈴木 清

# 天幕の街

M I N D G A M E S

フジフィルム スクエア 写真歴史博物館企画写真展

2023年1月4日|水|—3月29日|水|

10:00—19:00 (最終日は16:00まで、入館は終了10分前まで) 会期中無休/入館無料

主催:富士フィルム株式会社 監修:鈴木洋子 鈴木光 鈴木遊

企画:コンタクト 後援:港区教育委員会

FUJIFILM SQUARE

1960年代から70年代にかけて独自の展開を見せた日本の写真集は、近年、海外でも大きな注目を集めています。なかでも、約30年間の写真家活動で8冊の写真集を発表した鈴木清は、表現媒体としての写真集を唯一無二の次元に昇華させた写真家です。自らの手で綿密に編まれた多くのダミー本<sup>\*</sup>で繰り返し行われた試行錯誤の後に世に提示された写真集は、そのいずれもが五感の歓びを呼び覚ますような強い存在感を放っています。

<sup>\*</sup>写真集に使う作品のコピーやキャプションなどをレイアウトし本の形に綴じたもの。写真集の設計図のような存在。

1943年、福島県好間村(よしま村 現・いわき市)の炭鉱町に生まれた鈴木清は、高校卒業後、漫画家を志して上京しますが、ほどなく絵の道を断念。土門拳の写真集『筑豊の子どもたち』を通じて絵やグラフィックなどと共通する“手によって創造する視覚分野”である写真に可能性を見出し、写真を学びはじめます。そして、1972年に装丁やレイアウトまですべて自らが手がけた初の写真集『流れの歌 soul and soul』を自費出版します。

3冊目の自費出版となった1982年刊行の『天幕の街 MIND GAMES』は、それまで、すべて自分一人で行っていた作業工程のうち、デザインと装丁部分を、初めてデザイナーの鈴木一誌に任せる試みがなされた写真集です。写真の組み合わせによって、写真の間から見えてくるものを大切にした鈴木清にとって、第三者の視点による再構築は、自らの写真に新たな世界を発見する大きな契機になりました。「サーカスの天幕」<sup>ふらん</sup>「A・Q・U・A 水声」「腐爛風景」「路上の愚者・浦崎哲雄への旅 1979-1981」の四部で構成される本写真集のタイトルは、幼い頃、父親とともに見に行ったサーカスの記憶に由来しています。サーカスの人々や路上生活者といった「漂泊者たち」のイメージは、鈴木清の記憶と夢をたどる旅のようでもあり、見る者を夢と現実の狭間に誘います。本展では、『天幕の街』所収作品約40点と、生前刊行された写真集のためにコピー本を綴じ合わせて制作された、本人の手による貴重なダミー本を展示します。



1



2



3

1. 空中の秘芸・大一丁ブランコ、平塚／1979年 2. スペインからやって来たジャグラの芸人、東京・千駄ヶ谷／1979年  
3. 哲ちゃんとうが娘・光／1980年 4. サーカスの天幕／1979-80年 5. 写真集『天幕の街』のための表紙案／1982年  
<sup>\*</sup>写真1~4いずれも『天幕の街』より ©Yoko Suzuki



4

## 鈴木 清 (1943年-2000年)

1943年11月30日福島県石城郡好間村(現・いわき市)に生まれる。1965年 福島県立平第二高等学校(定時制)を卒業後、漫画家を志して上京。1969年 東京総合写真専門学校卒業。「カメラ毎日」に「シリーズ・炭鉱の町」を発表(～1970年、全6回)。以後、看板描きをしながら写真家活動を続ける。1972年『流れの歌 soul and soul』(自費出版)刊行。1976年『ブラーマンの光 THE LIGHT THAT HAS LIGHTED THE WORLD』(自費出版)刊行。1982年『天幕の街 MIND GAMES』(自費出版)刊行。1983年『天幕の街 MIND GAMES』写真集、個展に対して第33回日本写真協会賞新人賞受賞。1985年 東京総合写真専門学校講師に就任。1988年『夢の走り S STREET SHUFFLE』(自費出版)刊行。1991年『愚者の船 The Ship of Fools』(アイブシー)刊行。1992年『天地劇場 SOUTHERN BREEZE』(自費出版)刊行。個展『母の涙』に対して第17回伊奈信男賞受賞。1994年『修羅の園 Finish Dying』(自費出版)刊行。1995年 第14回土門拳賞受賞。1997年 手摺りリトグラフによるポートフォリオ『INDIA SONG』(制作:WORKS・H)刊行。1998年『デュラスの領土 DURASIA』(自費出版)刊行。2000年3月23日、死去。享年56。



5

## FUJIFILM SQUARE

フジフィルム スクエア 写真歴史博物館

〒107-0052 東京都港区赤坂9丁目7番3号(東京ミッドタウン・ウエスト)

TEL 03-6271-3350 電話受付時間 [10:00~18:00]

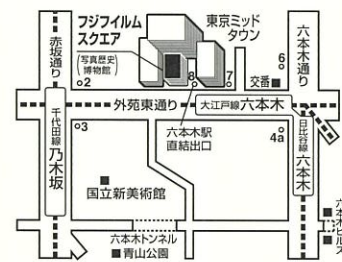
URL <https://fujifilmsquare.jp/>



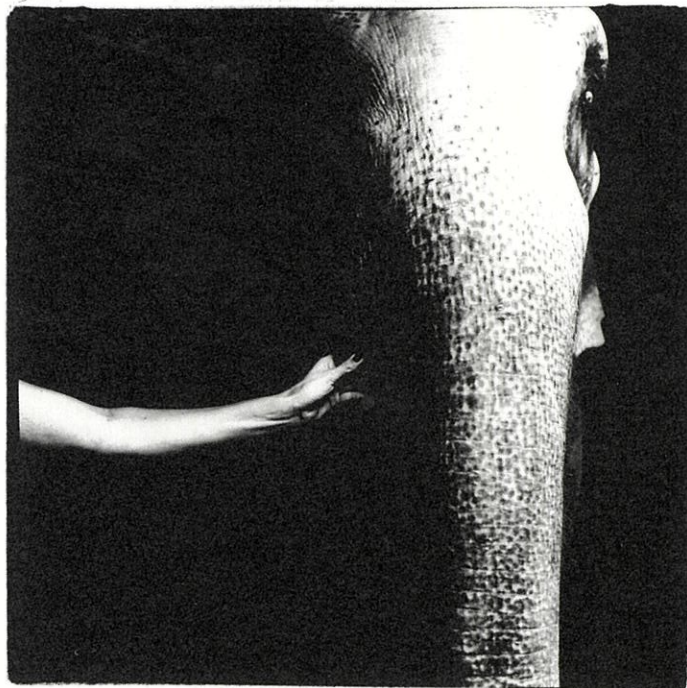
<sup>\*</sup> 写真展はやむを得ず、中止・変更させていただく場合がございます。ウェブサイト・電話でご確認ください。  
<sup>\*</sup> 祝花は固くお断り申し上げます。



写真歴史博物館は、2022年、公益社団法人企業メセナ協議会より、「芸術・文化振興による社会創造活動」として「THIS IS MECENAT 2022」の認定を受けております。



都営大江戸線「六本木駅」8番出口と直結  
東京メトロ日比谷線「六本木駅」地下通路より徒歩約4分  
東京メトロ千代田線「乃木坂駅」3番出口より徒歩約5分



鈴木 清

# 天幕の街

M I N D G A M E S

フジフィルム スクエア 写真歴史博物館企画写真展

2023年1月4日|水|— 3月29日|水|

10:00—19:00

(最終日は16:00まで、入館は終了10分前まで)

会期中無休/入館無料

主催：富士フィルム株式会社 監修：鈴木洋子 鈴木光 鈴木道

企画：コンタクト 後援：港区教育委員会

出番を待つ象と女 サンガーの由美  
1980年『天幕の街』より © Yoko Suzuki

POST CARD

鈴木 清  
天幕の街

MIND GAMES

フジフィルム スクエア 写真歴史博物館企画写真展

2023年1月4日|水|—3月29日|水|

10:00—19:00 (最終日は16:00まで、入館は終了10分前まで)

会期中無休/入館無料

主催：富士フィルム株式会社 監修：鈴木洋子 鈴木光 鈴木遊

企画：コンタクト 後援：港区教育委員会

FUJIFILM SQUARE

フジフィルム スクエア 写真歴史博物館

〒107-0052 東京都港区赤坂9丁目7番3号

(東京ミッドタウン・ウエスト)



TEL 03-6271-3350

電話受付時間 [10:00~18:00]

URL <https://fujifilmsquare.jp/>



※ 写真展はやむを得ず、中止・変更させていただく場合がございます。ウェブサイト・電話でご確認ください。  
※ 祝花は固くお断り申し上げます。

都営大江戸線「六本木駅」8番出口と直結  
東京メトロ日比谷線「六本木駅」地下通路より徒歩約4分  
東京メトロ千代田線「乃木坂駅」3番出口より徒歩約5分



写真歴史博物館は、2022年、公益社団法人企業メセナ協議会より、「芸術・文化振興による社会創造活動」として「THIS IS MECENAT 2022」の認定を受けております。